

あいちの印刷

10

2011.10
No.479



稲武町の畑で!

も く じ

巻頭言 「笑顔が一番」 ／組織官公需委員長 吉川正敏	3
従業員・家族合同レクリエーション大会	4
9月期理事会	6
第2回ポスターグランプリ審査会	8
「Print Next 2012」 「未来の印刷」大賞作品募集中	9
身近な催し物のお知らせ	9
平成23年度新入社員研修会 意見交換会	10
全印工連メールマガジンに登録を!	12
全日本印刷工業組合連合会 「全印工連フォーラム」開催	13
IGAS情報①／愛印工組 東北支部・中支部 合同研修会開催／事務局だより	14

巻頭言

「笑顔が一番」

組織官公需委員長 吉川 正敏

岡崎市倫理法人会に平成12年2月に入会して、純粋倫理の学びの講話を毎月聞かせていただき、その話の中で朝の集いを知ることができました。又、父親が平成14年1月17日に他界したこともあり、純粋倫理をもっと勉強したく、平成14年4月22日(月)に生涯局に入会して朝の集いに出席させていただきました。毎朝午前4時起床と自分に約束して午前5時からの朝の集いに通い始めました。まだ夜遅くの生活があって二日酔いで欠席したり皆勤が出来ませんでした。100日皆勤を決意した日から、100日皆勤・200日皆勤と毎朝通うことが、また、出席のハンコを押してもらえることが楽しくなり265日まで皆勤することができました。この間に多くの方から多くのことを教えていただき「そのまま聞いて、そのままやる」実践をして幸せいっぱいの日がおくれるようになりました。

入会してまもなく森田玲子講師から「明朗」の実践内容を教えていただきました。明朗・愛和・喜働の実践で「明朗」の実践をすれば愛和・喜働は等しくついてきます。「明朗」は、ほがらかな心を持ち続けることであります。「明朗」の実践は、正しい朝起き・素直なハイの返事・明るい言葉(声)笑顔と教えていただ

きました。やはり笑顔が一番と思いました。今年の2月に倫理研究所の研修センターであります富士高原研修所に2泊3日の倫理経営セミナーに参加しました。富士高原研修所のホール一角にスマイルガイドが設置してあります。3日間の研修項目の中にスマイルガイドで100点の笑顔をつくる実践がありました。それも10秒間100点をキープすることとあります。スマイルガイドのカメラの前でいろんな笑顔を作りますが、なかなか100点は出ませんでした。笑顔をやり続けますと瞬間に100点が出ますので、これが100点の笑顔かと記憶するのですが10秒間キープは最後まで出来ませんでした。

今回の研修で、「人に会う前に笑顔をつくる」実践を決意して帰ってきました。あれから7ヶ月が経過しましたが今も家庭で笑顔練習をしています。

奥さんと会う前に笑顔を作ってから挨拶をしますと、なぜか明るい声になります。笑顔を作ると明るい言葉が出て、悪い言葉は出ません。毎朝、空に向かって「うれしいな・たのしいな・しあわせだな」と笑顔を作って言いますと、なぜか心が明るくなります。明朗は、笑顔が一番です。

OLIVER496SD

菊全判4色 印刷機

大型多色SDシリーズ 第一弾

オールインワン
最新自動化設備 完全装備



最高の製品をお届けすることで、
お客様の満足をお約束します。

Sakurai
株式会社 桜井グラフィックシステムズ
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本社
〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9
TEL.(03) 3643-1131(代) FAX.(03) 3643-1138

中部営業所
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575) 35-255(代) FAX.(0575) 35-2881

大阪営業所
〒532-0012 大阪府淀川区木川東3-1-31
TEL.(06) 6308-6651(代) FAX.(06) 6308-6679

九州営業所
〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL.(092) 741-2672(代) FAX.(092) 741-2670

岐阜工場
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575) 33-1260(代) FAX.(0575) 33-3146



従業員・家族合同



名古屋地区からの参加者一行



名古屋地区からの参加者一行



知多地区からの参加者一行



奮闘する猪飼共済・労務委員長



長浜の「黒壁スクエア」脇の観光スポットを散策

湖東ウォーキングと秋の味覚を満喫 181名が参加・楽しい1日を過ごす

愛印工組は、9月10日、平成23年度「従業員・家族合同レクリエーション大会（日帰りバス旅行）」を開催しました。

今回のレクリエーション大会は、大河ドラマで話題の「江・浅井三姉妹」の博覧会が開催されている滋賀県長浜地区（黒壁スクエア）と、ぶどう狩りができる体験交流型農業公園「アグリパーク竜王」（滋賀県蒲生郡竜王

町）。参加者に湖東のウォーキングと秋の味覚を満喫してもらうことが目的で、タイトルは「江・浅井三姉妹博覧会—ウォーキングとジュシーぶどう狩り」。

担当は共催・労務委員会（猪飼重太郎委員長）。参加者は181名を数えました。

当日、参加者を乗せたバス6台（名古屋2台、知多1台、岡崎1台、豊橋2台）は、東名阪自動車道、新名神高速道路を経て、午前11時過ぎに最初の目的地「アグリパーク竜王」に到着。観光ぶどう園の担当者にぶどう園に案内され、早速、ぶどう食べ放題のぶどう狩りを開

レクリエーション大会



ぶどう狩りを
楽しむ参加者



高井理事長ご夫妻とお孫さん



岡崎地区からの参加者一行



豊橋地区からの参加者一行



JR長浜駅前の観光バス乗り場での参加者



豊橋地区からの参加者一行

始まりました。道中、東名阪自動車道の御在所SAで、弁当とお茶を受け取った参加者の多くは、すでに車中で朝食兼昼食の弁当を食べており、ぶどう狩りのぶどうは絶好のデザートとなったようでした。

秋の味覚を満喫した参加者は、午後12時過ぎに次の目的地である長浜地区へ出発。名神高速道、北陸自動車道を経て、午後1時20分頃、JR長浜駅近くの観光バス乗降場に到着。バスから降りた参加者は東に広がる「黒壁スクエア」に向かいました。黒壁スクエアは、長浜旧市外にある伝統的建造物を活かした観光スポットです。こ

の一带は、美術館、ギャラリー、ガラス工房の他、レストラン、カフェが集積したエリアです。しかも「江・浅井三姉妹博覧会」（長浜・黒壁会場）が開催中とあって、北国街道や大手門通りは人の波であふれていました。参加者は、思い思いにガラスギャラリー（黒壁ガラス館など）を見学したり、カフェに入り一服したり、ショッピングを楽しむなどしました。

黒壁エリアで約2時間過ごした参加者は、午後3時30分に観光バス乗降所に集合。それぞれの観光バスに乗り、北陸自動車道、名神高速道を経て帰路につきました。

●9月期理事会

「愛知県印刷会館竣工記念事業」の概要報告

「平成24・25年度役員推薦会議」設置を決定

平成23年度9月期理事会（第4回）が、9月22日午後3時より、東桜会館で開催されました。理事会では、平成23年度委員会事業が報告された他、来年1月の新しい印刷会館の竣工を受けて開催される「愛知県印刷会館竣工記念事業」の概要が報告されました。記念事業は「経営者、社員の皆様など多くの方々に新印刷会館に来ていただき、見ていただく」（高井昭弘理事長）内容、企画になっています。また、平成24・25年度役員推薦会議の設置が決定され、役員推薦会議の委員長に選任された白井紘一氏（前理事長）は「10月中旬に新役員案を決定したいと思っています」という意向を表明しました。

理事会の司会は加藤修専務理事が務めました。

冒頭、挨拶に立った高井理事長は、国際総合印刷機材展「IGAS2011」にふれ、「メーカーさんの出品機を見ると、業界の流れが分かる」という視点から、毎回、印刷機材展を視察していると述べた上で、今回のIGAS2011を視察した印象、感じたこととして次の点を挙げました。

今回のIGASは、規模的に「寂しい展示会であった」という印象を受けた／デジタル関連出展企業の中で最大のブースを占めたメーカーが特に目立った／日本を代表する印刷機メーカーの1社が出展していないことに対して「我々の業界の大きな変化を表わし、問題提起をしているのではないか」という感じを受けた／シール・ラベル印刷分野でもインクジェットシステムなどデジタルシステムが目立ち、ハードが変わってきていると感じた。

そして高井理事長はIGAS2011を視察した総括として「今後、注意しなければならないことが、IGAS2011の中にたくさんあったという感じを受けました」と述べ、デジタル機器の台頭、伸展を示唆するとともに警鐘を鳴らしました。

この後、高井理事長を議長に審議に入りました。

■議事

〈組合員の加入・脱退〉

加入1社（㈱アイエフ：代表者＝山下真一氏、所属支部＝知多）、脱退4社（組合員総数270社）

〈愛知県印刷会館竣工記念事業の件〉

木野瀬吉孝副理事長が「2月15日から18日までの4日間、講演会やセミナーなど、竣工記念事業を行う予定です。これにともない、例年新年互礼会前に開催していた講演会は、来年は無しとします」と前置きして、概要を説明しました。

①記念講演会＝平成24年2月16日／講師：石田明氏（大日本スクリーン製造㈱代表取締役会長）

②記念パーティ＝2月16日午後5時30分～7時（予定、詳細調整中）

③記念セミナー＝2月18日（詳細調整中）

（2月15日に㈱日本印刷技術協会のJAGAT地域会員の集い「JUMP中部2012」が、2月17日に中部地区印刷協議会・平成23年度下期会議が開催予定で、両者を竣工記念事業に関連すると位置付ける）

竣工記念事業に関連して高井理事長が「この4日間、経営者、社員の皆様など多くの方々に新印刷会館に来ていただき、見ていただく。そのような内容、企画にします」と捕捉説明をしました。

〈平成23年度委員会事業の件〉

委員会事業で、経営革新・環境委員会の事業に関して細井俊男副理事長が、第2回ポスターグランプリ（PG）の展示会と表彰式について説明、参加を要請しました。

●PG展示会＝11月1日～6日（愛知県美術館・8階ギャラリー・展示室A）

●表彰式＝11月3日午前10時30分開会（愛知県芸術文化センター・12階アートスペースA）

また、細井副理事長はPG審査会が9月13日に東桜会館で開催され、グランプリ（最優秀賞）など各賞が決定したことを報告しました。

マーケティング委員会の事業に関しては、鬼頭則夫委員長が説明しました。

共済・労務委員会の事業に関しては、猪飼重太郎委員長が、中小企業共済、永年勤続優良従業員表彰、平成23年度後期・鉛・有機溶剤取扱者健康診断（実施時期：10月～平成24年3月）、従業員・家族合同レクリエーション大会（9月10日実施）、健康診断

実施の案内などを説明、報告しました。このうち健康診断については、(財)名古屋公衆医学研究所と契約することになったことを報告。充実した内容で、安価で検診を受けることができ、一定の人数(例えば支部単位)が集まれば検診バスの派遣も可能ということから、利用を推奨しました。

教育委員会の事業に関しては、松岡祐司委員長が、9月30日開催予定の「全印工連・特別ライセンスプログラム／Adobe Creative Suite5.5新機能&電子出版ソリューション」特別セミナー、平成23年度技能検定試験(実技試験、学科試験対策学習会、学科試験)を説明、報告しました。このうち全印工連・特別ライセンスプログラムに関連して、8月8日に開催した「Adobe CS5テクニカルセミナー」(会場：ウインクあいち)について報告。そして「114名の参加があり、大変好評でした。そういったテクニカルセミナーも付いています。金額的に値打ちであり、メリットもあるので、まだ購入されていない方はぜひ今年度ご検討をお願いしたいと思います」と購入を要請しました(申込み期限=10月31日)。

この他、活動計画として、愛印工・名古屋而立会共催セミナーが11月18日に開催されること、平成24年新春「印刷と関連業界新年互礼会」が平成24年1月13日に名古屋東急ホテルで開催されることが報告されました。

また、活動報告として、岡田邦義副理事長が、本年4月から9月まで実施してきた新入社員研修会について、参加企業担当者の意見、評価を報告するとともに、収支決算を報告しました。

〈愛知県印刷会館建設の件〉

愛知県印刷協同組合の白井紘一理事長が、建設の進捗状況(9月27日に上棟式/平成24年1月末に引渡し予定)、寄付金(特別会費)と私募債募集、備品購入について説明しました。

〈持出し理事会の件〉

12月2日に名古屋市内のホテルで開催する案が出され、承認されました。



理事会の席上で挨拶する高井理事長

〈その他〉

共済・労務委員会の委員1名が欠員になったことにもない、阿部浩治氏(中村支部長)が選出されたことが報告されました。

また、高井理事長が「議案を上程させていただきます」と前置きして、平成24・25年度の役員を推薦する「平成24・25年度役員推薦会議」の設置を提案。承認後、委員長を白井紘一前理事長とする推薦会議のメンバー9名が選任されました。これを受け、白井委員長は「10月中旬に新役員案を決定したいと思っています」という意向を表明しました。

この他、資材値上げの件が報告されました。資材値上げに関し、8月25日に日印産連の猿渡智会長に全印工連が、ジャグラ、GCJ、全製工連の各会長の同席のもと、「資材値上げに関して、日印産連がもっと行動して欲しい」という要望したことを報告しました。また、高井理事長はその席で、猿渡会長に愛知県で印刷会社の倒産が続出している現状を説明するとともに、その原因が大手印刷企業の安値発注にあることを指摘し、その上で「大手企業には発注責任があるはずで、秩序ある価格での発注をお願いしたい」と申し入れたことを明らかにしました。

最後に高井理事長は、全印工連が「印刷物ご発注に関するお願い」を作成したことを報告し、組合員に顧客との値上げ交渉にそれを活用して欲しいと要望しました。



審査の様子



審査終了後、ホッとした表情で記念撮影におさまる審査委員

愛印工組・愛印協組・岐阜印工組・三重印工組

第2回ポスターグランプリ審査会

グランプリ(最優秀賞)など入賞作品決定

“まちの魅力を伝えよう!”をテーマに作品を募集した「第2回ポスターグランプリ(主催=愛知県印刷工業組合、愛知県印刷協同組合、岐阜県印刷工業組合、三重県印刷工業組合)の審査会が9月13日午後12時30分より、東桜会館で開かれ、グランプリ(最優秀賞)、優秀賞、中部経済産業局長賞などの入賞作品を決定した。

ポスターグランプリは、将来のグラフィックデザイン業界を担う学生に発表の機会を与えると同時に、印刷業界とデザイン業界の結び付きを強め、双方の発展に資することを目的に昨年より開催されているもの。第2回目となる今回のポスターグランプリは、愛印工、愛印協組に加え、岐阜印工、三重印工も主催者として参加。東海3県下の大学、専門学校、高校を対象とする、より広域化したデザインコンペティションになった。応募作品数は193点と昨年の206点より減少したものの、グランプリ(最優秀賞)決定にあたって、審査員の第1回投

票で過半数を占める作品がなく、第2回投票でようやく決定したことに象徴されるように、全体的にレベルの高い作品が目立った。

入賞・入選作品は「第2回ポスターグランプリ展」として、11月1日から6日(午前10時~午後6時/最終日は午後4時まで)まで、愛知県美術館ギャラリー・展示室A(愛知県芸術文化センター8階/名古屋市東区東桜1-13-2)で、展示、一般公開される。また、入賞者表彰式は、会期中の11月3日午前10時30分より、愛知県芸術文化センター・アートスペースA(12階)で行われる。

なお、審査委員長の高北幸矢氏(名古屋造形大学学長)は、応募作品について、「昨年のテーマ(「環境保護」)より、表現が難しかったと思います。それでも、“まちの魅力を伝えよう!”というテーマを解釈、咀嚼し、地域の魅力、歴史、文化、産業を掘り起こしてアピールする、そういった知識、知性を感じるポスターが多かったと思います」と高く評価した。

■「第2回ポスターグランプリ展」11月1日から6日/愛知県美術館ギャラリー



生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか? 私たちはモノ作りの会社として、
 先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に
 “満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。
 私たち東洋インキグループは、世界にひろがる
 「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社

中部支社 〒461-0025 愛知県名古屋市東区徳川1-901 サンエース徳川ビル1階 Tel: 052-979-7451

www.toyoink.co.jp



■「Print Next 2012」

小・中学生を対象にしたコンクール 「未来の印刷」大賞作品募集中

Print Next 2012運営委員会は、来年2月4日に横浜のパシフィコ横浜・会議センターで開催する「Print Next 2012」に向けて、小・中学生を対象にしたコンクール「未来の印刷」大賞を実施する。“未来の印刷”をテーマに自由な発想による絵と作文を募集、式典の中で表彰式を行なう。

Print Next 2012は、全国青年印刷人会議、全国印刷緑友会、日本JCメディア印刷部会、ジャグラー青年部SPAC21、全日本紙器段ボール青年部協議会の5団体からなる運営委員会が主催し、団体の垣根を越えて交流、研鑽するイベント。業界の将来をともに考え、社会を変革するリーダーとしての資質を磨き、希望の未来を創造することを目的としている。

【10月31日(月)が締め切り日】

《募集要項》

- ▼作品テーマ：未来の印刷
- ▼「絵」部門：A3判規(420×297mm)、もしくは画用紙ハ

●身近な催し物のお知らせ(愛印工組関係)

開催日時	事業・行事、場所、備考	
11月1日(火) 6日(日) 11:00～ 12:00	事業・行事 ところ	第2回ポスターグランプリ 入賞・入選作品展 愛知県美術館ギャラリー 展示室A [愛知県芸術文化センター8階] 表彰日：11月1日(火) 10:30から(受付10:00) ※入場無料 ※最終日は16時まで
平成24年 1月13日(金)	事業・行事 ところ	平成24年 新年互礼会 名古屋東急ホテル ※詳細調整中

●身近な催し物のお知らせ(関連団体)

開催日時	事業・行事、場所、備考	
10月22日(土) 10:00～ 18:00	事業・行事 ところ 参加費	平成23年度 中部支部 秋季印刷技術セミナー 「印刷現場の静電気対策とプリプレスの改善」 東桜会館 (会員)7,000円(3名以上の場合はお一人様6,000円) (会員外)9,000円 定員50名

つ切り(390×270mm)に描き、表現方法はクレヨン・鉛筆・水彩何でも可。応募票をダウンロードして必要事項と作品に対する思いや説明文を書き、作品に添付。応募は1人1点とする。

▼「作文」部門：原稿用紙3枚(1200字)以内。応募票をダウンロードし、必要事項を記入の上、作品に添付して応募。また、全ての原稿用紙の枠外に氏名を記入のこと。応募は1人1点とする。

▼送り先：全日本印刷工業組合連合会「未来の印刷」大賞係、〒104-0041東京都中央区新富1-16-8日本印刷会館 TEL03(3552)4571。

▼締め切り：10月31日(月)必着。

▼賞及び表彰方法：最優秀賞(各部門1名)、優秀賞(各部門1名)、審査員特別賞(若干名)。

- ・絵部門…表彰状授与、図書カード
- ・作文部門…表彰状授与、図書カード

▼発表・表彰式：2012年2月4日(土)パシフィコ横浜会議センター会場内に全応募作品を展示。

応募票のダウンロードは<http://www.printnext.jp/>

オフィスに店舗に工場に、「LED照明」をご提案いたします。

私たちは、
地球にやさしい商品とサービスの提供を通して、
心豊かな社会の実現に貢献します。



株式会社 アクスアス

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中央区栄一丁目25番35号
紙営業本部 TEL.(052)220-5511 IP電話(050)3533-5511 FAX. (052) 220-5522
Home Page <http://www.axuas.jp> / E-mail info@axuas.jp

「LED照明器具」の販売を始めました。

「LED照明」は地球環境にやさしい照明です。
聞いてはいるがよく判らないという方のために、
本社1階にショールームを開設いたしました。

ぜひ一度、体験して下さい。

オフィス、店舗、倉庫、工場の照明をはじめ、
ディスプレイや電飾看板にも使えます。
必ずやお客様へのヒントがそこにあるはずですよ。

心よりお待ち申し上げております°
(紙営業本部 環境ソリューション事業部)

社内での研修より多く学べ、 知識が増え、しっかり教育ができた

是非、継続開催を望みたい

愛印工組が主催しました「新入社員研修会（ジョブ・カード助成金制度を利用した）」が無事終了し、その意見交換会が8月26日午前10時30分よりウインクあいち会議室において行われました。その内容を報告します。

■出席者

〈愛印工組〉

岡田邦義愛知県印刷工業組合担当副理事長

加藤修同専務理事

〈新入社員研修会参加企業〉

鳥原久資株式会社丸和印刷社長

高橋豊木野瀬印刷株式会社営業部長

中須賀啓プリ・テックグループ総務担当

岩瀬清豊橋合同印刷株式会社社長／大澤ゆかり

岡田吉生ブラザー印刷株式会社社長

杉谷芳紀ユタカ印刷株式会社社長

大脇宣仁日本紙工株式会社東海事業部管理部長

（事務局担当者1名）

【不安材料等】

■昨年度までは、商工会議所等の新入社員研修会（2～3日）と社内研修を行い、3ヶ月した後に配属していた。今回は日数も金額も大きかったが、“印刷”にマッチした内容のカリキュラムであったので良かったと思う。この研修により基礎をしっかり学んだので、現場でも教えられたことの呑み込みが早い。ただ、現場の先輩との温度差が出る可能性があるようだ。

次年度も新卒を採用したら参加させたいと思っている。（豊橋合同印刷）

■まだ不安材料を感じるほどの結果に至っていないが、先輩社員も知らないような深いところも学習出来ている。いい意味で社内の勉強にもなっている。（木野瀬印刷）

■新卒者を初めて採用した。組合の新入社員研修会とジョブ・カード制度を知らなければ、新卒採用に踏切っていなかったかもしれない。参加した本人と話したが、他社の方々との横のつながりが出来たことで、いい意味での競争意識を持ってくればと期待している。（ユタカ印刷）

■これまでは入社前に通信教育を受けさせており、今回のような研修に参加させるのは初めて。当社から参加した者は高卒者であったため、本人たちにはレベルが高かったようだ。

参加者のほとんどが大卒者であったようで、本人たちも不安がっていたが、なんとかこなしたようだ。試用期間が終わり、今はそれぞれに配属したが、各部署の責任者から「教わったことを一つ一つ行えている」と報告を受けている。今後も、新卒採用時には参加させたい。（日本紙工）

■今までは社内で10～14日ほどの手作りの研修と、商工会議所等の研修に参加させていた。今年の新入社員はこの研修会に参加させて、昨年までの子が（研修内容に差が出て）かわいそうに感じた。社内での研修より多くを学べ、知識が増え、しっかり教育できたと思っている。その効果がこれから実感できると期待している。

来年度も継続して実施していただきたい。不安材料はないが、今後、申請の手続きがどのようになるのかが気付きである。（プリ・テックグループ）

御社の印刷工場になります

制作から印刷・製本・発送まで自社一貫体制

- ◎カラーもモノクロもページもの印刷得意です
- ◎厚紙パッケージ菊全4色印刷始めました
-0.04mmの薄紙から0.8mmまでの厚紙まで-
- ◎菊全シルバーマスターでのページもの印刷もできます

大日印刷株式会社
DAINICHI

☎0564-62-8461(代)

幸田工場 額田郡幸田町大字坂崎字石ノ塔46-1 FAX(0564)62-8463

http://www.p-dainichi.com E-mail:mail@p-dainichi.com



120余年の伝統に
培われた信頼と
先進の
テクノロジー

- 印刷機械
 - 製版機械
 - 製本機械
 - DTP関連機
 - 印刷諸材料
 - データ制作
 - オンデマンド印刷
 - データ出力
- お役に立てる
印刷関連
総合商社



株式会社 盛功社

〒461-0014 名古屋市長区榑木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280
http://seikosha-net.jp/

■参加した本人はおおむね満足している。ゆとり世代の彼らにとって、規律的な講義等はとても新鮮だったと話していた。5S活動などはとても勉強になったようだ。若干、専門的な内容の講座についてはハードルが高かったようである。

当社では新入社員は一人なので、同じ業界の新人が合同で研修することは“同期”といえる人との横の繋がりも出来るので、本人にとっても会社にとっても大変良かったと思っている。組合として「同期会」を設営してあげるとよいのではないかと、思う。(丸和印刷)

■個性が違うので、この新入社員たちにどうやってほしいかを踏まえて、JAGATの研修等を受けさせて、終わってから「わかったか？」と確認していた。加えて、現場であったり、他社の会社見学をしたりして研修をしていた。

今回の新入社員研修では印刷全般を網羅できるカリキュラム内容であったので、先輩が知らない事も勉強してきている。後は社内で、このカリキュラムの内容とどのようにシンクロさせてフォローしていくかが課題であると思っている。社内でそういう準備をする余裕があるといいなと思う。

座学で長時間拘束しての研修であるので、寝ていないか等の心配はあったが、同業他社の同年代の人達と一堂に会しての研修は貴重であり、良い研修だったと思う。

せっかく同期の仲間が出来たので、交流の場を作れると良いのではないかと、思う。(ブラザー印刷)

【“レベルが高かった”件について】

■印刷の知識等の講義では専門用語が多くて分かり辛かったと聞いた。製造オペレーターにとってもかなりレベルが高いような内容だったらしい。

営業・制作・現場が一堂に集まって研修を受けているので、内容が専門的すぎると、関連部署以外の者は寝てしまう傾向にある。例えば、専門知識での講師は、印刷の知識というよりもマシンの機能の話が非常に多く、本来のこの研修目的の内容とずれていたのではないかと、思う。

レベルが高いというよりは、講師への依頼内容の提示が悪かったのか、講師が空気を読めていないのか、どちらかということだと思ふ。(丸和印刷)

■当社の新入社員は高卒であることもあり、「しっかり記述してきなさい」と指示をしたが、本人たちも必死



新入社員研修会で

に記述しようとしたのだが、記述するにも講師の話や進行が早すぎて記述が出来ない、また聞き取りもできなくて、もう最初から気力が下がるような感じだったらしい。

※以上の意見に対して、岡田副理事長より下記のとおりお詫びがあった。

本年度カリキュラム作成にあたっての時間が1ヶ月ほどであったため、十分な調整が出来ずご迷惑をおかけしてお詫びします。いただいたご意見を踏まえて、次年度の内容を設営します。

【申請での感想、苦勞した点、組合への要望等】

今回の「新入社員研修」は極力、参加企業の皆さんに費用面での負担を押さえるため、労働省の「ジョブ・カード助成金制度」を利用し、各企業の皆さんに「実践型人材養成システム」の申請をして頂きました。申請等での感想、苦勞した点をお聞かせ下さい。

■組合でひな形を用意してあったので助かった。社内では担当者を決めて集中して行えば問題ないと思う。

次回以降の申請にあたっては、担当機関が変わったとしても問題はない。(ブラザー印刷)

■当社は前年度もこの制度を申請し利用したが、その際にはカリキュラムを埋めるのに非常に苦勞した。本年度は組合でカリキュラムを用意してもらえたので、事務処理が格段に楽であった。自社単独で外部研修を探してカリキュラムを埋めるのは非常に苦勞する。

何よりも今回は、雇用能力開発機構の担当者も「制度を利用してほしい」という姿勢で対応していただけたので、そういう点では非常によかった。(丸和印刷)

■提出書類が多いこと、及び文言が分かりにくい。組合の資料(ひな形)がなければギブアップしていただろう。提出する書類がシンプルになればいい、というのが感想である。(ユタカ印刷)

■カリキュラムの日程の中で、できれば土曜日の設営は除いてほしい。代休の処理等の手間が発生するからである。(木野瀬印刷)

■本当に書類が多い！内容もよく把握しないままに取組んでいたのが苦勞した。雇用能力開発機構の担当者もしっかりサポートしていただけたので何とかできた。

紙でご愛顧50年

印刷用紙専門商社



メイカミ

名古屋紙商事株式会社

社長 長谷川 志

名古屋市東区主税町4-83 〒461-0018
TEL.052-931-2221(代) FAX.052-932-1418

豊山加工センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場
TEL (0568) 28-2049

今回でフォーマットを整えたので、次回からは少し楽になるだろうと思っている。(豊橋合同印刷)

【新入社員研修会の今後について】

■新卒者採用の際には参加させたいので、助成制度の有無にかかわらず継続開催してほしい。もちろん助成制度はあった方がいい。(ユタカ印刷)

■全カリキュラムは難しいかも知れないが、自社に合った内容の講座には是非参加させたい。(日本紙工)

■毎年新卒者を採用する予定なので、助成金も気になるが、新入社員のためにも是非継続開催してほしい。また、業界として早い段階で横の繋がりを作れる機会として非常に良いと思う。是非、継続開催してほしい。(木野瀬印刷)

■入社予定者に対して、研修を受けさせることをすでに伝えているので、是非とも継続開催していただきたい。できれば、金額と内容が見合うように設定をお願いしたい。(豊橋合同印刷)

■一貫性のある内容で、年間を通じて勉強できるカリキュラムは非常に貴重であり、また、組合で参加者を一括して開催するので、1社が単独で研修させるよりはるかに“お得”である。社会人としての自覚を持たせるためにも是非参加させたい。業界として体系的に基礎を学べるいい機会なので継続開催してほしい。(ブラザー印刷)

【組合への要望】

■土曜日の研修をはずして欲しい。100社100様なので、研修に規模や形態の異なる数社の見学が加わるといいのではないかと。「百聞は一見に如かず」であり、配属部署に関係なく必ず後の業務に役立つ。

■講座内容のレベルの統一を！ 相手が新入社員であり、印刷業界を何も知らない人材であることを講師にもしっかり理解しておいてもらいたい。

■規律・礼節のトレーニングは一度ではなく、少し期間を開けてフォローアップを設営して、気持ちの引き締めをして欲しい。すぐに忘れるから。

■一方的に教えるだけではなく、理解度の確認(テスト)等、気持ちを引き締めるための時間を組み入れてほしい。

■参加者各社社長へ、受講した新入社員に社内レビュー(報告)する機会を与えることを提案してはどうか。受講する姿勢が違って来るし、復習もできる上に、他の社員の勉強にもなる。

■QC活動やコミュニケーションスキルの講座は、新入社員だけではなく一般社員の参加も募集すべき。“七つ道具”等、知らない社員も多い。コミュニケーションの指導や訓練は社内ではなかなかできない。

■新入社員研修とは別に、「内定者研修」は企画できないか。

【ジョブ・カード制度の今後について】(岡田副理事長より)

■次年度の助成金の割合は、本年度の1/2程度になるかもしれない。廃止ということは現時点では聞いていない。但し、年度内(平成24年3月末日まで)の採用であれば、本年度の助成内容が適用される等、有利になる可能性があるため、支障なければそのように採用日を検討してください。

次年度の参加費の設営にあたり、見込み人数の見極めを悩んでいる。参加人数が多いほど参加費を安価に設定できるので、皆様には、支部会等で本事業について、内容や効果を含めて宣伝して下さるようお願いいたします。

秋に新卒者採用予定の有無及び新入社員研修参加予定の有無のアンケートを実施する予定ですので、是非、ご回答をお願いします。

■全印工連メールマガジンに登録を!

全印工連広報専門委員会では、この程、メールマガジンの配信を開始。これに伴い、メールマガジンへの登録を呼び掛けている。

全印工連では、「全印工連と各工組、組合員企業を結び情報網の仕組みづくりとして、メールマガジンの配信を開始しています。今後は組合員の皆さんの要望を盛り込みながら内容の充実を図っていきます。登録は、所属工組、企業名、TEL、会社役職、氏名、E-mail(1企業2名まで)などを記入し、FAXにて申し込みいただくか、全印工連ホームページ「<http://www.aj-pia.or.jp>」から行えますので、是非、ご利用ください。組合員以外の皆さんの登録も受け付けていますと勧誘している。また、メールマガジンに登録することにより、「①全印工連事業の取り組みがわかります。②経営・環境・法律などの

企業に欠かせない分野の情報が得られます。③印刷業界の動向がわかります」とのメリットを上げている。

問い合わせは、全日本印刷工業組合連合会(担当:藤井氏) TEL03-3552-4571 FAX03-3552-7727 まで。

E-mail: webmaster@aj-pia.or.jp



こちらから登録できます



全日本印刷工業組合連合会

「全印工連フォーラム」開催

業態変革実践プラン総集編—全印工連2012計画」発表

※業態変革実践プランは、全印工連ホームページでダイジェスト版を閲覧できるほか、自社分析ツール「7keys - 2012」と市場・顧客分析ツール「5Doors - 2012」を無料でダウンロードできる。

※体裁/A4版80ページ、価格/組合員2,500円(税込み)、一般6,000円(税込み)、申し込みは、全印工連TEL03-3552-4571まで。

全日本印刷工業組合連合会では、9月16日東京ビックサイト会議棟6階で、「全印工連フォーラム2011」を開催し、「業態変革実践プラン総集編—全印工連2012計画」を発表。組合員の業態変革への取り組みを促した。

フォーラム開催にあたり挨拶に立った水上光啓会長は、「7年間にわたり業界変革を訴え続けてきましたが、大半の人は、頭で理解ができて実践が十分でなかったかと思えます。だからこそ、実線が行えれば変るともいえます。業態変革への取り組みは永遠に続きますが、具体的な活動としては今年度が最後となります。7年分のエッセンスを収めた『業態変革実践マニュアル』を、是非、社員とともに活用していただきたい」と述べた。

第1部の全印工連メッセージでは、始めに業態変革推進企画室の萩原誠委員長が、新たに作成した『業態変革実践マニュアル』について、その内容と活用方法について説明した。業態変革実践マニュアルは、業態変革を実践、継続、定着させるための具体的なアクションプランの策定を主眼にし、これまで業態変革推進企画室が提供してきた一連のツールや提言のエッセンスについて、現状に合わせた改定を行なっている。萩原委員長は、「組合員1社1社の日々の弛まない実践が業態変革の方向性を決めます。製造業、サービス業、情報業3つの機能で最適なサービスを提供していきましょう」と語った。

また、印刷ビジョン研究会から「印刷関連業界と考えるこれからの印刷産業」と題して、①印刷物の減少を抑える対策、②印刷物を伸ばす対応、③ソリューション展開への対応の3つのテーマについて成果発表が行われた。花崎博巳委員長が同研究会の意義と活動内容について説明、副委員長を務める各メーカーの代表がテーマごとに発表した。

第2部の海外企業研究セミナーでは、米国の印刷会社WILEN社の戦略と業態変革の実践について、ダリン・ウィレン社長が講演した。

■業態変革実践プラン—全印工連2012計画 「業態変革実践マニュアル」

全印工連2012計画のテーマは、「業態変革実践プラン—変革はエンドレス」。業態変革を実践・実行し、定着・継続することが本計画の目的となっている。一部内容を紹介する。

【業態変革実践プラン総集編—変革はエンドレス】

■終わりなき業態変革 問われる実践のスピード
設立から7年が経過した業界変革推進企画室も、今年度が

活動の最終年度となりました。そこで企画室が提供してきた過去の様々な提言やツールをより実践につなげるべく、企業の現状を「見える化」する7Keys、5doorsの設問項目を見直し、「7Keys - 2012」、「5Doors - 2012」としてリニューアルしました。また、「業態変革・ワンストップサービス 実践ガイドブック」で提示したソリューションマップは、川上方向、川下方向など、業態変革の方向を決定する際や、実際に取り組む項目を決めるときの最適なロードマップとして活用いただけます。

■進展し続ける4つの潮流と業態変革を迫る3つの変化

全印工連は2004年に、「業態変革推進プラン—全印工連2008計画」を提案しました。当時は、社会の環境変化が私たちのビジネスにじわじわと影響を及ぼし始めた頃でしたが、今では産業構造そのものを見直さなければならないところまで、変化の波が押し寄せています。

社会の変化とは、①国際化、②高度情報化、③少子・高齢化、④成熟化です。この4つの潮流は「社会の主役」、「競争相手」、「スピード」の3つの変化をもたらし、私たちに「業界変革」を迫っています。

2004年の時点で提示した4つの潮流と3つの変化は、2011年現在、穏やかになったでしょうか。私たちの身の回りで起こり始めている現象を見れば、衰えるどころかますます加速していることがわかります。現状維持は後退と同義です。立ち止まっていたは取り残されるばかりでしょう。業態変革のスピードを上げていしか前進はありません。

■業態変革を加速するためのアクションプラン

自社独自の業態変革に取り組むために、具体的にやるべきことを順を追って提案します。まずここでは、「7Keys - 2012版」で、①自社分析、②目標設定、③実践プラン作成、「5Doors - 2012版」で、①顧客・市場分析、②目標設定、③実践プラン、を作成した上で、④実践へと落とし込んでいきます。

【アクションプラン策定支援ツール】

自社分析と市場・顧客分析の2つのツールをダウンロードできます。自社分析ツール「7Keys - 2012」は、7つの分野・13分類の計71の設問に答えることで、自社の強みや弱みが数値化され明確になります。また、市場・顧客分析ツール「5Doors - 2012」は、5つの分野・31の設問に答えることで、顧客市場の変化やニーズへの自社の対応度合いが数値化され明確になります。



国際印刷機材展「IGAS2011」が、9月16日～21日まで、東京ビッグサイト東館において、「Print Your Future！印刷は環境とともに進化する」をメインテーマに開催された。今回は、327社

2,740小間の規模で、最先端技術が披露された。

主催者の日本印刷機材団体協議会小森善治会長は、「近年IT化で情報コミュニケーションが多様化し、印刷メディアの価値観が変化している。そのような中で印刷産業は、最新テクノロジーと変化する環境と調和しながら進化し、明るい未来を作ることができる非常に素晴らしい力を持っている。この力を全世界に発信していきたい」と述べた。

来賓祝辞では、上田隆之経済産業省製造産業局長が「日本経済は、今

後の復興需要を経済成長へ結び付けていくことが重要である。高度な品質、厳しい納期に応える印刷技術は、世界のどこでも通用する競争力となる」と称えた。

また、猿渡智日本印刷産業連合会会長は「印刷産業はあらゆる事業分野を顧客に持つのが強み。今後、顧客の成功を導くパートナーとなるためにも、ものづくりを創出するヒントをこの会場で見つけて欲しい」と期待を示した。

この後、代表者によるテープカットでIGAS2011が開幕した。



東北・中支部合同研修会参加者(東京ビッグサイトで)

愛印工組／東北支部・中支部 合同研修会開催

国際総合印刷機材展「IGAS2011」視察
愛印工組の東北支部（服部恭政支部長）と中支部（小出一郎支部長）は、9月17日から一泊二日のスケジュールで、「IGAS2011」視察を中心とする東北・中支部合同研修会を開催した。参加者は30名。

研修会初日の17日、午前7時に名古屋駅に集合した一行は、午前10時過ぎに東京ビッグサイトに到着。早速視察に入った。視察後、服部支部長は、「4年前（前回）と比較して展示規模が大幅に縮小されおり、それを目のあたりにして、業界の厳しさをあらためて感じました。展示物では、プリプレスのデジタル化が進み、オンデマンド印刷を実現するトナーによる電子写真方式の高速プリンタも登場していました。インクジェットはオフセット印刷にどう対応できるか、中でもUVインクジェットはいろいろなメディアに印刷できることに驚きました。今後、デジタル印刷とアナログ印刷をどう組み合

わせて運用していくかが課題と感じました」と感想を語る。

視察を終えた一行は宿泊先のホテルにチェックインした後、「船清」船着場へ。ここから貸切屋形船に乗船し、東京湾の夜景を楽しみながら、懇親会を開き、天麩羅や江戸前の料理を満喫した。

翌18日はフリータイムで、IGAS2011を再視察する人、東京観光に出かける人という具合に思い思いに東京出発までの時間を過ごした。一行は3時過ぎと5時過ぎ出発の新幹線の2班に別れ、帰名した。

事務局だより

■印刷会館・上棟式

来年1月竣工を目指し、建設が進められている愛知県印刷会館の基本構造が完成したことから、9月27日午後4時より、上棟式が執り行われました。上棟式には、建築主である愛知県印刷協同組合の白井紘一理事長、同協組の建設委員会メンバー、それに、愛印工組の高井理事長はじめ三役などが出席、竣工の無事を祈願しました。



あいの印刷

No.479

平成23年10月10日発行

発行人 高井 昭 弘
編集 組織・官公需委員会
発行所 愛知県印刷工業組合
〈仮移転先〉 愛知県製本会館5階
〒461-0005 名古屋市東区東桜2-9-22
TEL (052) 508-5201
FAX (052) 979-5366

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>
◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp